

研究実施のお知らせ

2026年 3月13日 ver.1.0

研究課題名

島根大学医学部附属病院で全身麻酔を受けた6歳未満の小児患者さんにおける筋弛緩モニターの使用状況の現状：後ろ向き調査

研究の対象となる方

2020年1月から2025年12月の間に島根大学医学部附属病院（以下当院）で全身麻酔を受けた6歳未満の小児の方

研究の目的・意義

全身麻酔を行う際に手術中の安全のために筋弛緩薬を使用することがあります。日本麻酔科学会の「安全な麻酔のためのモニター指針」では、麻酔中は筋弛緩モニターを用いて筋弛緩状態の確認をすることを推奨しています。これは術後の残存筋弛緩による合併症を回避するためです。

しかし、成人患者さんと比較し、小児患者さんでの筋弛緩モニターの使用の頻度は決して高くありません。本研究では、当院での6歳未満の小児患者さんにおける筋弛緩モニターの使用状況を調査することといたしました。全身麻酔をうける小児患者さんに対する筋弛緩モニター使用の現状と課題を把握することで、より安全な麻酔管理に役立てたいと考えています。

研究の方法

麻酔記録やカルテから、既に記録された以下の情報を集めます。

- 1) 年齢
- 2) 体重
- 3) 手術に関する情報：診療科、手術時間
- 4) 筋弛緩薬使用の有無
- 5) 筋弛緩モニターの使用の有無
- 6) 筋弛緩モニターのキャリブレーションの有無
- 7) 拮抗薬使用の有無
- 8) 拮抗薬の投与量
- 9) 抜管前の筋弛緩モニターによる定量的評価の有無
- 10) 担当麻酔科医

これらの情報から、年次ごとの筋弛緩モニターの使用率、患者さんの年齢別の筋弛緩モニターの使用率、拮抗薬の使用率、筋弛緩モニターを使用した麻酔科医の割合を調査します。調査結果をもとに、筋弛緩モニターの使用率の今後の改善方法を検討します。

この研究に関するデータ等は、個人を特定できないように記号化した番号により管理します。あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。お名前などのリストは収集データとは別に、施錠可能な場所で研究責任者が適切に保管します。外部への持ち出しは行いません。

研究の期間

2026年4月（研究許可後）～2027年12月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院麻酔科 太田絢子

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026年10月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院麻酔科 太田絢子

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2295 FAX 0853-20-2297